

彦根市公共交通活性化協議会

平成20年3月24日設置
平成21年2月26日連携計画策定



概要

市民が快適に、便利に利用できる公共交通を目指し、使いやすさ・分かりやすさ・親しみやすさを向上させるとともにコスト削減を図り、環境に優しい低炭素社会の構築を交通面から実現する。

バス交通を将来にわたって持続可能なものとするため、彦根市内で運行する路線バス利用者数を目標年次である平成23年度において100万人への増加と、事業者に対する補助金額を目標年次である平成23年度において6,500万円までへの削減を目指す。

○主要バス路線ダイヤ改善による実証運行

市内で湖国バス(株)が運行している「三津屋線」「彦根駅市立病院線(南回り)」の2路線を合わせて昼間30分ヘッド運行によりわかりやすいダイヤ編成を目指す。

○予約型乗合タクシー実証運行

公共交通空白地域である鳥居本・稲枝地区で予約型乗合タクシーの実証運行により需要に応じた柔軟・効率的な輸送と公共交通利便性の地域間格差の解消を目指す。

また、市内で湖国バス(株)が運行している「河瀬南彦根線」の乗車密度が極めて低いため、利用者のニーズに合った路線再編による利用者増加および赤字額削減を目指し、その改善に併せて採算が低い地域での予約型乗合タクシーの実証運行を検討する。

○著しく乗車密度の低いバス路線の改善

鉄道・バスを連携させたわかりやすいマップの作成・配付により公共交通の使いやすさ、わかりやすさ向上を目指す。

